

2008年度(第12回) 神戸大学ポランティア講座 受講生募集要項

[日程]

講義等・・・2009年2月15日(日)
体験実習・・・2009年2月17日(火)～3月14日(土)のうち3日間
意見交換会・・・2009年3月16日(月)

[会場]

講義等・・・神戸大学鶴甲第1キャンパスR棟
体験実習・・・協力団体の各施設
意見交換会・・・神戸大学鶴甲第1キャンパスR棟

主催：神戸大学
協力：神戸大学学生震災救援
神戸大学総合ボランティアセンター

※受講申込書は、この募集要項の最後に綴じ込んでいます。

1. 趣旨 「生きづらさ」から構想するもうひとつの社会

本講座は、神戸大学生が課外でのボランティア活動や社会活動などを通じて、キャンパスの中だけでは得られない社会の実際に即した学びを得ることを目的としています。この講座の原点である1995年の阪神・淡路大震災に際しては、多くの神戸大学生が地域での救援ボランティア活動に従事し、被災した人々と真摯に向き合う中で、地域に存在するさまざまな社会的課題に気づかされ、自分の生き方や社会的役割そのものを問われる経験をしました。これを契機に、被災地にある総合大学として、神戸大学はこのような真摯な学びの場を提供し得る学生による課外での社会活動の重要性を認識し、その推進と支援を目的として1997年度より本講座を実施してきました。

本年は「『生きづらさ』から構想するもうひとつの社会」をテーマに本講座を実施します。近年「ワーキングプア」「ネットカフェ難民」などが社会的課題として大きく取り上げられています。神戸大学を卒業した後も、正社員として企業に採用されていなければ、安定した生活を送ることが難しい現実があります。しかも正社員になったとしても、激しい競争にさらされます。

そのため大学では、じっくりと自分を見つめ直すことや、今の社会を問い直すことよりも、短期的な競争を切り抜け、いわゆる「勝ち組」として生き残ることに時間を費やさざるを得ない学生が増えています。しかし今日、本当に学生が社会から求められているのは、そのように追い詰められている自らの状況を問い直し、そこから、もうひとつの社会を構想しえる力を身に付けることではないでしょうか。

キャンパスの外に目を向ければ、人間関係のなかでの精神的な「生きづらさ」を感じる人々、貧困から抜け出せなくて経済的な「生きづらさ」を感じる人々、社会のなかで疎外感や居場所のなさを感じて「生きづらい」という人々が増えています。「勝ち組」として生き残ることのみに必死となると、そうした人々の「生きづらさ」に真摯に共感することができず、「負け組」と見なして切っ捨てような態度を取ることとなってしまいます。そうした態度こそが、「生きづらさ」を生み出す「生き難い」社会を支えるものです。

本講座では、「こども・若者の居場所」「在日外国人」「野宿と労働」「被災地の復興と被災者の生活再建」の4つの現場に根ざした実践に参加することによって、それぞれの現場が向かい合っている人々の「生きづらさ」を学ぶとともに、その背景にある「生き難い」社会の構造を考えていきます。その上で、自分や他者の「生きづらさ」を切っ捨てず、むしろそこから「もうひとつの社会」を構想しえる力を身に付けることが、本講座の目的となります。

※ 本講座は本学学務部と本学都市安全研究センター学生支援GP「地域に根ざし人に学ぶ共生的人間力」の連携のもと、本学学生サークル「学生震災救援隊」「総合ボランティアセンター」の協力を得て企画実施するものです。

2. 概要

- ◎定 員 60人 (講義のみ一般参加を含め100人)
- ◎対 象 者 神戸大学学生 (講義は一般にも公開、事前申し込みが必要)
- ◎受 講 料 無料
- ◎申込方法 巻末に綴り込んである「受講申込書」に必要な事項を記入のうえ、平成21年1月30日(金)午後5時まで学務部学生生活課又は各学部・大学院各研究科の教務学生担当係に提出してください。

◎会 場 講義・意見交換会は神戸大学鶴甲第1キャンパス。実習は各受入先で実施。

◎講座内容

Ⅰ 総論・入門編としての講義等 2009年2月15日(日) 10:00~17:00

① 開講式 (10:00~10:20)

② 講義「生きづらさ」はどこからくるのか (10:30~12:00)

講師：生田 武志 氏 (野宿者ネットワーク)

内容：近年、貧困が広がる中、「ワーキング・プア」「ネットカフェ難民」などの問題が深刻です。こうした経済的な「生きづらさ」以外にも、人間関係のなかでの精神的な「生きづらさ」や、社会のなかで疎外感や居場所のなさを感じて「生きづらい」という人々がいいます。こうした「生きづらさ」はどこから来るのでしょうか？ さまざまな「生きづらさ」の実際、その背景にある社会の課題、そしてそれを乗り越える方向性について、お話していただきます。

③ パネル討論「生きづらさ」から構想するもうひとつの社会 (仮) (13:00~16:00)

司 会 藤室 玲治 氏 (神戸大学都市安全研究センター学術推進研究員)

パネリスト 山下 耕平 氏 (フォロ事務局長)

志岐 良子 氏 (神戸定住外国人支援センター職員)

鍋谷 美子 氏 (神戸YWCA夜回り準備会共同代表)

鈴木 隆太 氏 (中越復興市民会議コーディネーター)

コメンテーター：生田 武志 氏 (野宿者ネットワーク)

内容：体験実習に協力していただく各団体の皆さんから、それぞれが現在取り組んでいる課題と、そこで出会う人々の「生きづらさ」についてご紹介いただきます。その後、そうした生きづらさを生む社会的背景や、現場で出会う「生きづらさ」に向き合うことによって、それぞれの考え方や生き方がどのように影響されたかについて意見交換します。最後に「生きづらさ」を生み出さない、そのような社会が構想できるかどうかについて、討論する予定です。

【以下略】

体験実習、意見交換会等一般の方が参加できない行事については、省略しています。

1 鶴甲第1キャンパス配置図

大学教育推進機構 (共通教育課)
 国際文化学部・国際文化学研究科
 国際コミュニケーションセンター
 キャリアセンター
 学生センター (学務課, 学生生活課)
 総合・国際文化学図書館

ボランティア講座会場

学生センター (学生生活課)

市バス⑩系統
 神大国際文化学部前



Ⓚは喫煙場所を示す。